

8-4-24 選定・契約専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 専門委員会の開催

委員会開催回数：7回（4月～3月）

適時専門委員会を開催し、技術部会、業務システム委員会等からの指摘、アドバイスに基づいて各担当WGの検討項目を審議した。

各WGの下記活動報告書は、協会会員への情報提供として、協会ホームページに掲載する。

(2) 適正なプロポーザル方式、総合評価落札方式の検討

a) プロポーザル・総合評価落札方式の現状把握と年次報告書の作成

各発注機関のプロポーザル方式と総合評価落札方式の実施状況の把握を目的に会員企業にアンケートを実施し、結果について取りまとめた。作成経費の推移、課題や改善点を整理とりまとめ、概要版、報告書を作成した。

白書、要望と提案の補足資料として活用する。

b) 国土交通省の総合評価落札方式のデータ収集整理、課題と適正な選定方式の提案及び年次報告書の作成

各地方整備局の入札調書の開示データを収集し、契約形態別の発注件数、金額、競争入札の落札率の分析、および総合評価落札方式の実態把握と課題を整理し、適正な選定方式の提案と分析結果を白書に掲載した。

c) 積算の現状把握と合理化の提案

総合評価落札方式での積算（予定価格の算出）作業の合理化に向けて、各地方整備局の積算条件の開示状況に対し前年度調査からの改善効果に着目して専門委員の会社へ実態把握のためのアンケート調査を実施した。課題や改善点を整理するとともにアンケートで得られた好事例を整理し、報告書を作成した。

また、要望と提案の補足資料として活用する。

(3) 地方自治体への技術による選定の普及提案

a) 地方自治体の選定・契約制度の現状把握と年次報告書の作成

都道府県、政令市の選定・契約制度（指名基準、入札契約方式、成績評定、優良業務表彰等）の現状把握のために支部にアンケート調査を依頼し、取りまとめ結果を年次報告書として、支部にフィードバックした。

b) 地方自治体へのプロポーザル方式の普及提案及び総合評価落札方式の適正な運用の提案

「技術力による選定方式」を実施している自治体に対して、現状、効果、課題や対策、運用上の苦労や工夫などをヒアリング収集した整理結果は、平成29年4月に総括報告書として作成し、ホームページに掲載した。

2. 技術部会・業務システム委員会等との関連

(1) 「要望と提案」と「白書（現状と課題）」

平成30年度「要望と提案」と「白書」については対外活動部会の提示により、当専門委員会は「予定価格積算における経費算定方法の合理化」、「技術力による選定」の項の原案作成及びバックデータ作成を担当した。

(2) 中期行動計画実施計画のフォロー

中期行動計画のうち、当専門委員会に関する年次計画及び実施計画作成を担当し、その実施状況について総括を行った。

(3) 『土木施工』2018年8月号への対応

「公共調達」の積算の現状と課題」として、発注方式が異なる国土交通省と地方公共団体において、協会で実施したアンケートやデータ分析による実態調査を基に、積算に焦点をあてた現状の問題点と課題について紹介する原稿を作成した。

3. 次年度の活動について

以下の継続検討課題について検討する。

① プロポーザル及び総合評価落札方式の会員アンケート調査の実施及び課題の報告

② 国土交通省の公表資料を基に、契約方式別の発注状況整理および総合評価落札方式の発注状況実態調査及び改善提案

③ 地方自治体の選定・契約制度の現状把握と年次報告書の作成

④ 積算の現状把握と年次報告書の作成

（選定・契約専門委員会委員長 木村 誠一）